

2016年12月16日  
京成電鉄株式会社

## さらなる輸送の安全確保のために 「異常時総合訓練」を実施

大型台風の接近により土砂が線路内に流入、列車が脱線した場合を想定  
12月20日(火) 9:00～ 宗吾車両基地で実施

京成電鉄（本社：千葉県市川市 社長：三枝 紀生）では、12月20日（火）9時から、宗吾車両基地において「異常時総合訓練」を実施します。

これは、12月10日（土）から始まった「年末年始輸送安全総点検」の一環として実施するものです。成田空港利用や初詣等で多くのお客様が当社線をご利用になる年末年始に合わせ、社員一人ひとりが安全意識の高揚に努め、輸送の安全確保と重大事故発生時における対応力・技術力の向上を図ります。

今回の訓練では、大型台風の接近により線路内で土砂崩れが発生し、土砂および倒木が流入。走行中の列車が土砂に乗り上げて脱線、停止し、車内に負傷者が発生したことを想定しています。

この想定のもと、対策本部の設置や関係各方面への連絡通報、列車内に閉じ込められたお客様の避難誘導や負傷者の救護、現場の復旧作業など、鉄道の各部門（運輸部・施設部・車両部・建設部）と協力会社、佐倉警察署、酒々井消防署など合計約150名で行います。

今年度は、当社において発生した倒木による運転見合わせや、他社において発生した視覚障害者の事故に鑑み、倒木の撤去作業及び、視覚障害、車椅子利用のお客様を、当社社員が避難誘導する訓練を行います。

異常時総合訓練の概要は、次頁の通りです。



昨年度の異常時総合訓練の様子

（写真左：お客様の避難誘導の様子、写真右：脱線した車両を線路に復旧する訓練の様子）

## 異常時総合訓練の実施について

1. 日 時 2016年12月20日(火) 9:00~12:30
2. 場 所 宗吾車両基地
3. 参加者 京成電鉄社員、協力会社社員(京成建設、京成電設工業、京成車両工業)  
佐倉警察署、酒々井消防署 合計約150名
4. 訓練概要
- (1) 事故想定内容  
大型台風接近の影響により、線路内で土砂崩れが発生し、土砂および倒木が流入。  
走行中の電車が土砂に乗り上げ、倒木に接触、列車の先頭車両が脱線して停止。乗客のうち、5名が重軽傷。
- (2) 訓練内容
- ① 災害対策本部・現地対策本部の設置
  - ② 列車防護、連絡通報
  - ③ 負傷者救出、旅客の誘導案内
  - ④ 緊急出動、復旧作業

以 上